地域支え合い推進協議体

いっそう元気！東近江

かわら版
第１１号
R 2.11.19

『第 12 回いっそう元気！東近江』を、令和２年８月 ４ 日に開催！コロナ禍で三密を避けるなど感染症対策をした上で、ZOOM を活用した初めての試みで行いました。

令和 2 年度の目標や方向性、第 2 層協議体の進捗を共有し、各プロジェクトからこれまでの実践の成果と課題をふりかえり。そして、改めて東近江市で解決していくべき課題等を話し合い、これから必要なことは何かを考えました。

懇談「これまでのプロジェクトの取り組みから 今後、東近江市で必要なことを考えていくために…」

■各プロジェクトの成果報告を聞いて〝いいね〟と感じたポイント

≪住民と医療福祉の専門職がつながるプロジェクト≫

- ご近所のつながりを大切に継続してサービスを利用することの大切さについて、様々な伝え方や手段があることに気づいた。今回作った寸劇もその一つで内容がわかりやすかった。
- 寸劇は年代によって伝わり方が違いそう。自分のこと、家族のことを考える機会になる。色々な年代に聞いてほしい。
- 住民と専門職だけでは難しいことでも、企業や商店の力を借りると、より暮らしの豊かさにつながると思う。

≪くらしを豊かにする外出支援プロジェクト≫

- ちょこっとバスのおでかけツアーやガイドなどの提案、福祉事業所の車両の活用のしくみなど、第２層での展開が期待できる。
- ちょこっとバスが「使いにくい」という声を聞くが、目的別（買い物や通院）に考えてみると活用できるかもしれない。
- 市の介護予防事業はあるが、行く手段がない人も多い。外出支援の取り組みが拡がれば、介護予防にもつながりそう。

≪農で活躍プロジェクト≫

- 農業は暮らしに根付き、気軽で楽しい。年代を越えて教え合ったり、つながり合ったりと地域づくりのツールになる。「いきがい農業」の考え方をもっと広げていけると良い。
- DS 利用者が野菜を育てるのは、やりがい、暮らしの活力につながる。
- 御園では農業をテーマに、地区の人や団体が自然とつながれた。その良さを発信したい。

≪これまでの『いっそう元気！東近江』の取り組みから≫

- どのプロジェクトもつながっていて、暮らしを豊かにしていくための色々なノウハウを知れた。
- 第２層（地区）や自治会に出ていくことで、新たな気づきが生まれる。地域で必要なことは住民に聞かないとわからない。今後も第２層へ出向いていくスタイルで取り組めると良い。

発行：社会福祉法人東近江市社会福祉協議会

『いっそう元気！東近江』で考えていく課題を出し合い、どう協議していくか…

■外出支援は高齢者だけの課題ではない！

・移動は高齢者だけでなく高校生など様々な世代が暮らし続けるための課題。

■住民と専門職がつながるために

・退院される方を地域にどうつなげるかが課題。専門職だけのつながりから地域へ拡げるのが難しい。
・専門職は地域から招いてもらう方が出やすい。
・地域からすれば専門職はお金がかかる、忙しそう、専門用語を聞いてもわからないという印象がある。

■自立支援の啓発、サービスのイメージを変える

・自立支援の考えをもっと拡げていく必要がある。本人の思いを聞き、できることから活躍できる機会をつくることも大切。
・サービスの「お世話になる」というイメージはまだ残っている。イメージを変えいくためには、専門職から住民へ働きかけていく必要がある。

■今後の『いっそう元気！東近江』

・各プロジェクトを継続できないか。もう少しできること、伸びしろがあるため実践を重ねたい。
テーマは違うが、くらしの豊かさを考える上ではつながっている。みんなで話すとアイデアも出る。
・第２層協議体を応援するツールとして、各プロジェクトの実践をまとめて提示できると良い。
・第２層で何をしたら良いかわからないこともある。提示できると取り組みのイメージが持てそう。
・『いっそう元気！東近江』のメンバー以外にも、同じような課題意識や思いを持っている人がいる。
同じ意識を持って話し合える仲間を増やしたい。

■住民と専門職が考えていくべき課題

・サロンなど行くところがないから、サービスを利用したいという声が増えている。
・その人にあった過ごし方が提案していけるように住民と専門職が一緒に考えることが必要。

■農業による〝いきがいづくり〝の可能性

・農業は教えてくれる人が多く、元気な人も支援が必要な人も関われて、いきがいにつながる。
・野菜市などで顔の見える関係ができる。いきがい農業から生まれる色々なエピソードを発信できると良い。

■みんなの得意を活かすことがいきがいに

・みんなが先生であり生徒。得意なことや趣味をを教えてもらうことからつながりが生まれる。
・人財バンクとなるとハードルが高い。得意を活かせることで、その人のいきがいにつながる。

『いっそう元気！東近江』でのみなさんの意見を踏まえ、３つのプロジェクトを継続し、第２層協議体への働きかけを軸に実践を重ねていきたいと考えています。全体会では今後も解決していくべき課題を見出し、東近江市に必要なしくみや取り組みについて検討していきます。今後もよろしくお願いします。

発行：社会福祉法人東近江市社会福祉協議会